

ボストンマラソン爆破テロ事件と日本の三菱重工爆破事件との比較

	ボストンマラソン爆破テロ事件	三菱重工爆破事件
発生日時	2013年4月15日14時45分	1974年8月30日午後 0時25分
爆破予告	なし	7～3分前に3回の予告電話 至急避難を勧告するも いたずら電話として警備員に切られる
死者	3名(4月15日の大会当日、病院到着後の死亡は0人)	8名 (即死5名、病院収容後に死亡3名)
負傷者	264名(4月15日の大会当日) 四肢損傷66名 (下肢56名 上下肢6名 上肢4名)	376名(385名という説もあり)
死傷原因 爆傷分類 I～V等	II 爆傷 爆発物の破片のみ 15名が17肢を切断(下肢切断14例) 12名が主要血管損傷 29名が現場で大量出血 27名が現場で止血帯使用(全て即席止血帯) 適用例(切断16 血管5 軟部組織6) 周辺の店舗の窓ガラスは粉々に吹き飛ばされ、ボストン公共図書館3階の窓も破壊された 27の医療機関で対応	I 爆傷 爆発による衝撃波 ビル内部を爆風が抜けて破壊 爆発音は4キロ四方にまで及んだ II 爆傷 爆発物の破片 砕け散った窓ガラス4,000枚分の破片40t III 爆傷 四肢の離断 停車車両の破壊 爆心には30cmの穴が開き、被害範囲は200m四方 物的損害4億円
爆発分類	爆燃 衝撃波発生せず	爆轟 衝撃波発生
爆発物 破壊力	圧力鍋にconsumer fireworks 消費者向け花火から取り出した 黒色火薬 1,440gを詰めた圧力鍋爆弾 釘やボールベアリングなどの金属片金属片入れ破片効果を強化	ハترون紙に包んだペール2個に詰めたセジット爆薬 (市販除草剤から製造した塩素酸塩系の混合爆薬) 合計 54,800g ダイナマイト換算で700本分(火薬量10,000g)
犯人	2002年頃に難民としてアメリカに移住したチェチェン人の2人兄弟 兄 タメルラン・ツアルナエフ(逮捕時に死亡) 弟 ジョハル・ツアルナエフ (逮捕・死刑)	東アジア反日武装戦線“狼” ダイヤモンド作戦
爆発場所 回数	ゴール付近のコプリー広場の約100m離れた地点で2度爆発	三菱重工業東京本社ビル(現:丸の内二丁目ビル) 1階出入り口のフラワーポット脇で1度爆発